

図書館ネットワーク機能強化に向けた調査等業務委託仕様書

1 目的

本市では、超高齢社会の到来や人口減少、地域のつながりの希薄化など、社会状況が変化し、市民ニーズも多様化する中、これらの変化に的確に対応し、誰でも安心して暮らせるためのまちづくりに向けて、図書館においても、これまで以上の役割を果たしていくことが期待されていることを踏まえ、概ね10年後の未来を見据えた理念を掲げ、令和3年3月に今後の市民館・図書館の施設運営や施設整備の方向性を「今後の市民館・図書館のあり方（以下「あり方」という。）」としてまとめており、「あり方」に基づいて「市民館・図書館の管理・運営の考え方（案）（以下「考え方」という。）」を策定しているところである。

本業務は、「あり方」及び「考え方」に基づき、川崎市立図書館（以下「市立図書館」という。）が今後も市民の生涯学習活動を支えるとともに、多様なニーズに対応するために、市立図書館全体で図書・資料を収集・保存・有効活用し、図書館ネットワーク機能の強化のための手法として、図書館施設の新たなサービスの提案やそれらのサービスに応じた利用環境の向上、資料の保存に特化した保管場所（以下「共同書庫」という。）の設置の可能性の検討を進めるための調査等を行う。

また、本業務における調査等の成果物は、現在、図書館の新たなサービスを見据えた効率的・効果的な管理運営の考え方について、さらなる民間活力の導入や指定管理制度の導入について検討しており、その検討や新たなサービスの実施に向けた施設業務や設備整備についての基礎条件として活用する。

2 履行場所

川崎市内

3 履行期間

契約締結日から令和5(2023)年3月31日（金）まで

4 業務内容

市立図書館全13館の現況調査や他自治体の事例調査等から市立図書館における新たなサービスの提案やそれらのサービスに必要な施設機能を検討・整理し、それに応じた共同書庫の施設規模や付帯機能等の検討などを行う。

(1) 「あり方」及び「考え方」の把握

「あり方」及び「考え方」に掲載している図書館の事業・サービスの展開の方向性、図書館の施設整備の方向性を確認し、以下の項目について現在の市立図書館施設の施設利用環境の向上に資する機能の把握・整理を行う。

ア 図書館利用促進

イ 本や図書館の空間を活用した人への支援及び交流の場づくり

ウ ICT活用による新たなサービス

エ 多様な“知りたい”のニーズに応える図書館サービス

オ 諸室の規模の適正化や多目的化、バリアフリー化等の質的向上

(2) 市立図書館施設の現状の把握・分析

既存の市立図書館施設の現状について、現地調査等を行い、以下の項目について分析・課題整理を行い、他政令市等との比較を行う。

- ア 市立図書館の開架・閉架・閲覧スペース等の物的環境調査（施設ごとに各スペースの面積、書架間隔寸法、書架寸法、書架段数、閲覧机寸法などを計測）
- イ 市立図書館の立地状況調査（公共交通からのアクセス距離・手段、地形・地理的状況など）
- ウ 図書館事業等の諸室や館内ロビーの活用状況（講演会開催、テーマ展示スペース、パネル展示等のスペースの現状調査、新しい生活様式に即した対応などの現状把握など）

(3) 他自治体の事例調査

図書資料の収集・保存・提供を行うことに加え、多様化している図書館サービスに対するニーズに応じた施設機能について、各市立図書館の蔵書数や規模を踏まえて他自治体の図書館（3カ所以上）の調査等を行い、以下の項目について、施設機能ごとの事例を挙げながら整理し、導入の可能性を検討する上で必要な事項（課題や費用、効果等）の分析を行う。

- ア 子どもや高齢者、障がい者など、様々な人が利用しやすいサービス
- イ 地域課題の解決に向けた支援・相談
- ウ まちづくりや地域コミュニティの拠点機能
- エ 知的好奇心や利用促進を高める書架や展示
- オ タブレットやサイネージなどデジタル機器の活用
- カ 図書館フロアで会話や飲食を可能とする等、多様な図書館施設の利用
- キ 地域の特性に合わせた書架構成の充実

(4) 市立図書館における新たなサービスの提案やそれらのサービスに応じた施設機能の提案

2(1)～(3)を踏まえ、本市の図書館において新たなサービスの提案やそれらのサービスに応じた施設機能の導入を検討する上で、比較評価を行うための視点を提案するとともに、発注者が2つ程度に分類した市立図書館に対して、新たなサービスの提案やそれらのサービスに応じた施設機能を3案程度提案すること。施設機能の提案にあたっては、以下の項目を盛り込むこと。また、図書館の新たなサービスを見据えた効率的・効果的な管理運営の考え方の検討や、図書館のさらなる民間活力の導入や指定管理制度の導入の検討に向けた基礎条件として整理する。

さらに、市立図書館のうち発注者が指定する1館において、新たなサービスの提案やそれらのサービスに応じた施設機能を取り入れた場合のモデルプランの機能連携図等を作成すること。

- ア 提案理由
- イ 市立図書館におけるサービスを踏まえた期待される効果
- ウ 一般及び児童書架の1㎡当たりの収容冊数
- エ 閲覧席の席数及び1席当たりの面積
- オ 施設ごとの所蔵冊数（書架に収納できない冊数の算定を含む）
- カ 実施に伴う課題や概算費用

(5) 共同書庫に付帯する機能等の提案

2(4)で検討した案のうち、書架に収納できない資料を共同書庫へ所蔵するものとして、以下の項目を提案すること。

ア 共同書庫に付帯する機能

イ 共同書庫の機能に応じた施設規模

ウ 共同書庫の管理・運営手法（直営、業務委託など）

エ 図書館ネットワーク機能強化における共同書庫の位置づけ及び役割

(6) 新たなサービスの提案やそれらのサービスに応じた施設機能及び共同書庫の機能等を踏まえた共同書庫の概算事業費の検討

2(4)及び(5)で検討した案について、共同書庫の施設整備、維持管理、運営に係る概算事業費を検討し、比較整理する。

5 業務仕様

(1) 業務計画書

業務実施にあたり、次の内容を記載した業務計画書を提出し、監督員の承諾を受けるものとする。また、業務計画書の重要な内容を変更する場合は、理由を明確にした上、その都度変更業務計画書を提出し、監督員の承諾を受けるものとする。

ア 業務概要

業務の意図及び目的、実施する調査、計画、作業項目などを簡潔に記載する。

イ 業務実施方針

各種法令、基準、市立図書館の要綱等を整理した上で、調査、計画における作業項目及び発注者や施設管理者等との打合せ方法などを検討し、具体的に記載する。

ウ 業務工程計画

業務の流れが明確に把握できるよう、業務の作業手順を工程表として示すとともに、照査の節目や打合せ時期についても明示する。

エ 照査計画

照査を行う業務の節目、時期、内容等を記載する。

オ 業務実施体制

統括責任者、業務主任者、担当者等を組織図として記載する。業務を再委託する場合は、再委託者の住所、商号、氏名、再委託する業務の範囲、その必要性及び契約金額等を記載する。なお、業務の全部を一括して又は主要な部分を再委託してはならない。また、複数の者に再委託する場合で、自らが調整、指揮、監督又は検査等の総合管理を行う場合、それぞれの役割及び体制を記載する。なお、必要に応じて実績等がわかる書類を添えること。

カ その他監督員が指示する事項を記載する。

(2) 成果品の提出

ア 提出物

(ア) 本業務における調査・検討等をまとめた報告書：5部

(イ) その他、調査・検討等の過程で作成した資料等一式：1部

(ウ) (ア)及び(イ)の電子データを収めたCD-R：1枚

イ 提出条件

前記ア（ウ）のCD-Rは、ウイルスチェック定義（パターンファイル）が最新である環境でウイルスチェックを行ったことを確認した上、ウイルスチェック証明書（任意様式）とともに納品すること。また、データのうち文書及び表計算データは、ワード、エクセルファイル等の元データも収めること。

6 その他

(1) 経費の負担

機材や消耗品の調達費、資料印刷・送付費用など業務に必要な経費は受託者の負担とする。

(2) 著作権、所有権

成果物等の著作権、所有権等は川崎市に帰属するものとする。また、市は、成果物等のすべてについて、業務に必要な範囲で改変し、または二次利用する権利を有することとする。なお、写真やイラストを用いる場合は、その著作権等に留意すること。

(3) 契約不適合責任

業務完了検査の結果、成果物に契約の内容に適合しないものが発見された場合は、受注者は、市の指定する期間内に修正を行い、再度検査を受けること。

(4) 検査及び委託代金の支払いについて

発注者は、受注者が提出した業務完了報告書を検査した後、別途、受注者による請求書の提出に基づき、代金を支払うものとする。

(5) その他

この仕様書に定めのない事項、または不明な点がある場合は、川崎市の条例または規則に定めのある場合を除いて、その都度、両者協議の上で決定すること。

図書館ネットワーク機能強化に向けた調査等業務委託

別表

No.	館名	住所	設立年月	延床面積 (㎡)	蔵書数 (冊)		閲覧席数 (席)
					開架	閉架	
1	川崎図書館	川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク4階	平成7年4月	1,179	131,224	50,267	28
2	川崎図書館大師分館	川崎区大師駅前1-1-5 川崎大師パークホームズ	平成7年11月	265	43,054	5,911	10
3	川崎図書館田島分館	川崎区追分町16-1 カルナーザ川崎4階	平成4年10月	203	42,672	4,148	12
4	幸図書館	幸区戸手本町1-11-2	昭和55年7月	886	90,273	57,314	54
5	幸図書館日吉分館	幸区南加瀬1-7-17	平成15年7月	245	38,127	1,695	13
6	中原図書館	中原区小杉町3-1301	平成25年4月	4,497	250,276	163,457	201
7	高津図書館	高津区溝口4-16-3	昭和63年3月	2,196	133,309	118,953	148
8	高津図書館橘分館	高津区久末2012-1	平成5年10月	247	34,868	2,817	15
9	宮前図書館	宮前区宮前平2-20-4	昭和60年7月	1,448	136,654	106,349	74
10	多摩図書館	多摩区登戸1775-1	平成9年1月	1,725	170,412	106,343	93
11	多摩図書館菅覧所	多摩区菅3-1-1 K・Tプラザ3・4階	平成5年9月	348	28,391	877	48
12	麻生図書館	麻生区万福寺1-5-2	昭和60年7月	1,346	137,939	71,787	74
13	麻生図書館柿生分館	麻生区片平3-3-1	平成15年6月	391	41,952	389	44

※蔵書数は令和3年3月31日現在のもの。

※宮前図書館の蔵書数には、「自動車文庫」を含む。

※麻生図書館柿生分館の「延床面積」及び「閲覧席数」は、学校図書室分を含む。